

平成 27 年度 おきなわ環境クラブ活動実績

1. 社会貢献を主目的とする事業

(ア) 地域の自然と環境の保全に関する事業

- (1) 国場川河口域環境整備事業（水辺の緑化ボランティア活動）：6月、10月、12月、2月実施（8月雨天中止）延べ75人参加
- (2) 地域行事への参加：年4回実施
 - 宮古島市立エコ学園（11/3）：50人参加
 - JICA 国際協力・交流フェスティバル（11/7,8）：700人参加
 - 国場川水あしび（11/7）：37人参加
 - 県民環境フェア（11/22）：62人参加

(イ) 環境教育に関する観察会及び研修会等の事業

- (1) 「国場川ワークショップ」：奇数月実施、延べ47名参加
- (2) 「自然であそぼ！」：6/27「マングローブ染め」実施、9名参加
- (3) 夏休み自由研究プログラム：3回実施、延べ22名参加
- (4) 会員交流プログラム「東村つつじ祭り&OEC 交流 BBQ」：3/4 実施、39名参加
- (5) エコツアー人材育成「第2回なはエコガイド養成講座」：OEC と共催、11/3-12/6、12名養成
- (6) おきなわエコツアーリズムセミナー：11/4（講師：JES 辻野事務局長、やんばる自然塾島袋副代表）、場所：漫湖水鳥・湿地センター、15名参加
- (7) おきなわ水環境セミナー：2/3（講師：国立保健医療科学院島崎上席主任研究官）、場所：JICA 沖縄、28名参加
- (8) 職場体験受け入れ 12/8-10、港川中学校1年生3名受け入れ

(ウ) 自然と環境の題材を活かした地域振興に関する事業

- (1) 国場集落「サガリバナ観賞会」7/3、38名参加
- (2) 首里崎山町「サガリバナ観賞の夕べ」：7/4,5、912名参加
- (3) 首里末吉町「サガリバナ観賞@末吉公園」：台風のため中止

(エ) 必要な調査研究事業 実施なし

(オ) 会報等の発行

- (1) 会報：6月発行（450部）、1月発行（400部）
- (2) ホームページ及びFacebookは随時更新：ホームページアクセス増加数5,669件増加、Facebook「いいね」82増加

2. 収益を目的とする事業

(ア) 寄付金受入れ

- (1) アクサ生命保険株式会社：日本エコツアーリズム協会を通して（900千円）
- (2) MS&AD ゆにぞんスマイルクラブ（100千円）

(イ) 受託事業

- (1) 那覇市環境啓発事業 (1,350 千円)
- 那覇市主催事業：4 企画 6 回実施、延べ 87 名参加
 - 出前講座：18 件実施、延べ 1,068 名参加
- (2) JICA 研修受託事業 (21,810 千円)
- 国別研修「ミクロネシア 3 国水衛生管理」(2 年目)
 - 期間：5 月 25 日 (月) ～6 月 19 日 (金) 4 週間
 - 対象：ミクロネシア、マーシャル、パラオからの研修員 15 名
 - 課題別研修「島嶼部を活用した持続可能な観光開発」(3 年目)
 - 期間：7 月 6 日 (月) ～8 月 21 日 (金) 7 週間
 - 対象：ベリーズ、セントクリストファー・ネーヴィス、セント・ルシア、セントヴィンセント・グレナディーン、東ティモール、バヌアツからの研修員 6 名
 - 課題別研修「熱帯・亜熱帯におけるエコツーリズム企画・運営」(3 年目)
 - 期間：9 月 28 日 (月) ～11 月 27 日 (金) 9 週間
 - 対象：アルゼンチン、ボリビア、コロンビア、ドミニカ共和国、エクアドル、ニカラグア、パナマ、パラグアイ、ペルー、ベネズエラからの研修員 10 名
 - 課題別研修「島嶼水環境の保全と管理」(1 年目)
 - 期間：1 月 12 日 (月) ～3 月 4 日 (金) 8 週間
 - 対象：モルディブ、トンガ、パラオ、グレナダ、セントクリストファー・ネーヴィス、セントルシア、サントメ・プリンシペからの研修員 7 名
- (3) JICA 草の根技術協力事業 (インドネシア)「南東スラウェシ州ワカトビ県における地域に根差した環境保全型観光開発の推進」(H28-30 で 49,891 千円)
平成 28 年度契約予定、現地調査実施 9/15-21

(ウ) エコツアー

- (1) 「ふらっと街中のマングローブであそぶ」⇒「街中マングローブ探検ツアー」
- 「ふらっと」 4/1-5、7 回実施、延べ 14 名参加 (23 千円)
 - 「街中マングローブ」 OECP と共同企画で売り出し中

(エ) 企業 CSR 活動へのプログラム提供

- (1) 健康科学財団 4/19 (27 千円) 13 名参加

(オ) 研修旅行・修学旅行：なし

以上